

「単元の目標」慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。

1 次の傍線部の慣用句・ことわざのうち、使い方の正しいものを選ぼう。

問一 ア、気のおけない先輩と一緒に過ごすのは苦痛だ。
イ、彼とは幼なじみで、気のおけない仲なんだ。

「気のおけない」（気がおけない）

問二 ア、情けは人のためならずと言うから、知らない人にも親切にしよう。
イ、情けは人のためならずと言うように、人に情けをかけて助けても、
結局はその人のためにならないよ。

「情けは人のためならず」

問三 ア、人の失敗談を笑わずに、他山の石とすべきだ。
イ、尊敬する先輩の行動を他山の石にして頑張る。

「他山の石」

問四 ア、今回のミスは、私の役不足によるものです。
イ、あの大物俳優が脇役で出演するなんて役不足だ。

「役不足」

問五 ア、あの店は高級すぎて、私には敷居が高い。
イ、お詫びに行かなければならないが、敷居が高くて行きにくい。

「敷居が高い」

2 次の傍線部を正しく直そう。

問一 なかなか的を得た意見だと思う。

問二 観客がへそを抱えて笑った。

問三 部長として、彼に白羽の矢が当たった。

Three empty green rectangular boxes for writing answers to the questions above.